



増子ひろき

東京都議会議員

【増子ひろきプロフィール】昭和34年生まれ。衆議院議員秘書を経て平成3年より文京区議会議員4期。平成11年文京区議会議長。平成17年より都議会議員。経済・港湾委員長として新銀行東京・築地市場移転問題に取り組む。現在都議会民主党幹事長代行。



東京都議会第1回定例会報告



がん対策

推進条例を提案!

市場予算、食の安全を条件に可決!

平成24年第1回都議会定例会が、3月29日に終了しました。都議会民主党は、都民の総合的ながん対策が必要と考え、今定例会で「東京都がん対策推進条例」を提出しました。しかしながら、否定的な見解を示した会派があり、否決されることとなりました。また、築地市場の移転問題では、「食の安全を最優先する」との知事答弁を得た上で、3項目の付帯条件をつけて、関連予算に賛成することとしました。

本リポートにて私たちの質疑内容をご確認頂き、都民の皆様のご意見賜りたくお願い申し上げます。

Pick Up
01

東京のがん対策を加速

都議会民主党は、今定例会に議員提出議案第一号「東京都がん対策推進条例」を提出しました。

男性の2人に1人、女性の3人に1人はがんに罹るといわれており、東京では毎年3万人が、がんで亡くなっています。

議会質問や予算要望などでがん対策の推進を求めてきましたが、東京のがん死亡率は全国平均より高く、検診受診率も3割台と低迷。そのため、医療関係者・患者団体などからのヒアリング、視察を経て、条例案をまとめました。内容は、都民ががんについて学ぶ機会作り、予防と早期発見行動、受動喫煙防止、がんに罹っても適切な医療を選び、精神的・肉体的・社会的苦痛を軽減し、地域で良質な医療を受けられるようにするものです。

結果は、残念ながら1票差で否決。今後も、会派を超えてがんと闘う東京都議会を目指して取り組みます。

Pick Up
02

築地で食文化の拠点継承を合意! 開場は無害化が大前提!

都議会民主党は、関係者の合意や土壌汚染問題の解決がない中で、築地市場の強引な移転に反対していますが、関係者との合意については、2月7日、都と中央区とが、築地地区で食文化の拠点を継承していくことで合意しました。

今後、築地地区には、「食のプロに評価・使用される施設」あるいは「一般客・観光客にも親しまれる施設」といった食文化継承の核となる施設が整備され、場外市場とともに食文化の拠点としての「築地」が将来的にも引き継がれていくことが大いに期待されます。

一方、都議会民主党は、安全性が確認されなければ、豊洲新市場の開場には反対すると述べた上で、関係者の合意があったことを踏まえ、土壌汚染対策費などを盛り込んだ24年度市場会計予算に、条件を付けて賛成しました。

